

川辺川魅力創造事業 交流拠点整備関係者による

相良村廻地区 合同現地勉強会



川 辺 川 ア カ デ ミ ア
KAWABEGAWA ACADEMIA

開催日 2025.10.24 13:00~15:30

概要

参加者

熊本県河川課 球磨川流域復興局 球磨地域振興局
相良村企画商工課
国土交通省川辺川ダム砂防事務所
コンサルタント（河川設計・環境調査）
施工者（河川整備・施設整備）

主催

熊本県河川課
国土交通省川辺川ダム砂防事務所

場所

相良村廻地区（川辺川 観音橋上流）

2025年10月24日、「川辺川魅力創造事業 交流拠点施設」関連整備を控えた川辺川廻地区の水辺に約30名が集結！事業者（熊本県・相良村）、設計者・施工者、そして重要種等の環境情報を保有する国も一堂に会し、合同現地勉強会を行いました。

廻地区は「廻り観音堂」や「河童のお墓」等の史跡、奇岩と透き通る「川辺ブルー」が美しく、相良村自慢の景観&川遊びスポット！それだけでなく、川辺川の中でも特に「生物多様性」の高いホットスポットでもあります。廻の利活用・環境保全の両立した整備に向け、関係者が連携する機会になりました。

合同現地勉強会のMission

- ・廻地区の自然環境の特性・魅力・課題を理解する
- ・利活用・環境保全の両立に向けた方策を考える
- ・関係者が現地で一緒に学ぶことで連携強化・人材育成を図る



廻地区の整備イメージ（くまもとアートポリスによる施設イメージ）
出典）川辺川魅力創造事業交流拠点施設整備 全体イメージ図 相良村（R7.10）

相良村の絶景！廻の風景と自然の魅力の活かし方を学ぶ



皆さんと一緒に考え、より良い整備にしていきましょう！

このメンバーが集まるのは初！自己紹介から



主催者の熊本県職員からの趣旨説明

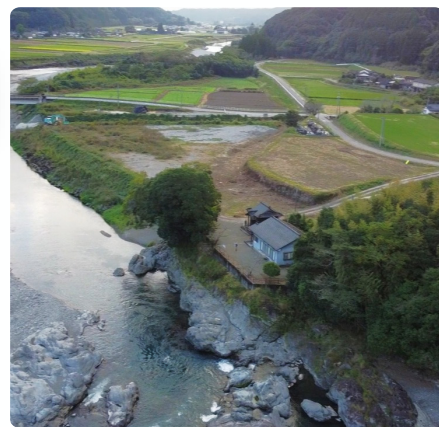


植物専門家から緑の残し方をレクチャー



廻地区は多様な生き物の宝庫！

整備の考え方や環境特性を共有



本流では川に降りる階段や護岸を整備予定



春に筍狩りしてみたい！

川への眺望を遮る竹林



地域の方が昔植えた珍しい竹もあるらしい

実際に現場を見て木陰の様子を体感します

廻地区の整備への想い、環境情報の共有

まずは親水護岸等の河川整備を行う熊本県・交流拠点施設整備を行う相良村より、それぞれの整備内容・工程や事業にける想いを共有。そして国土交通省より環境調査データに基づく様々な情報を重ねた「河川環境情報図」で自然環境の特性を紹介。

廻地区は川辺川の中でも特に生物多様性が高いエリア。これまでになんと約70種の貴重な生物が確認されている事実に皆さんびっくり！地域に愛され自然に優しい施設となることを目指し、多自然川づくりやネイチャーポジティブの考え方も共有しました。

心地よい緑の風景とは？竹林のコントロールを学ぶ

今回の整備では、現在の緑豊かな風景・木陰の心地よさをうまく残しながら、利活用の安全性を高め、新たな施設から川辺川への眺望も確保することが求められます。その中で課題となるのが、人の利用が減り過密になった竹林。竹の種類や美しく利用しやすい密度（例えば人が傘を差して歩けるくらい）を学びました。竹は生命力が強く根絶は難しいこと、水害防備林の機能もあることから、いかに共存するかが話題に。地域の皆さんと筍狩りや資材として活用しながら維持管理しよう、竹林の中の広葉樹は残そう、など現場視点で様々な意見が飛び交いました。

ひみつの小河川の自然の豊かさ・守り方を学ぶ



瀬と淵、川底の石が大事！

川の流れや河床の観察



実は貴重な藻類なんです！

石礫の生物や機能の解説



既存の石積みの観察



整備箇所以外はなるべくそのまま残そう

既存の護岸と調和した整備を目指す



河岸の地形・構造物の確認



水中をよく見ると魚がいっぱい！

淵の生物や機能の確認



川の生きものは洪水の攪乱に適応して生きています



貴重な植物の生育環境の解説



木陰を作るエノキなどの広葉樹を残そう！

河畔林の木陰が涼しく心地よい空間に寄与

いざ、川辺川のひみつの小河川へ！

そして廻地区の魅力である“ひみつの小河川”へ。川辺川の本流は開放的で力強い流れなのに対し、中州で本流から枝分かれした小河川は木々に覆われ静かなせせらぎ。田畑を潤す農業用水として昔から活用されており、川辺川アカデミアで小さなこどもから大人まで自然体験を楽しめる“フィールドキャンパス”でもあります。小河川の環境特性や魅力を現場で紐解きながら、現存する流れや河床材料の保全と共有について議論。流れが緩やかな淵は魚やカエルの産卵場で川流れ体験に活かせる、水深が浅い瀬は石のすき間が水生昆虫のすみかとなり、石積み体験に活かせるなど、場所ごとの魅力と活かし方を一緒に考えました。

風情ある石垣と緑の守り方・活かし方を考える

次に、視線を川の中から河岸・陸地に広げ、石垣や植生を観察します。河原の石を積んだ古い護岸は、苔やシダなどの緑に覆われ自然環境と見事に調和し、素朴で趣のある風景。今回の整備では、まだ現役の護岸は保全し、崩れて修復が必要な場所に階段護岸を整備する工夫で影響を最小化し、既存の風景との調和を目指すことを共有しました。また、木陰を構成する河畔林や河岸の草花の保全方法、アクセス箇所や竹類を適度に伐採し回遊性を高める工夫も議論しました。何気ない河岸に咲く絶滅危惧種に驚きながら、自身の目で生育場所を体感しました。

これからの廻の川づくりについて一緒に考える



小河川上流に向かい約400mの川歩き



井手山堰の状況



農業水路の観察



廻の水は米づくりの
大事な水でもあります

地域の方々のニーズの共有



ここからの風景も良いね！

うまく小河川に流れを
向けることができれば…

堰下流の流れの観察・水域連続性の改善に向けた議論



川-水田-森の
繋がりも生物
多様性の理由

小河川周辺の環境



現場にある素材や
自然の営みを活用して
試しながら良くしよう

勉強会のふりかえり

流れの連続性、水利用との両立を考える

川底・川岸の環境と風景を観察しながら、さらに川を遊ります。小河川は蛇行しながら徐々に細くなった後、本流と合流した井手山堰に到達。小河川とは対照的で轟々と流れる豊富な水量は圧巻！改めて廻の多様な魅力を再確認。一方で右岸の小河川は土砂が堆積しやすく農業用水の確保が難しくなっている課題も。今後どんな工夫ができるか皆で知恵を出し合いました。また、老朽化した堰の連続性を向上するため、仮設魚道の設置の成功事例も共有されました。

これからのより良い整備に向けて、気づきの共有

廻地区の自然環境の特性・魅力・課題や整備について気づきを共有しました。

今後の利活用・環境保全の両立に向けたPoint

- 既存の地形・自然環境・景観（石垣・木陰等）の魅力を活かし、整えすぎない
- 現地素材（石・植物等）や自然の営み（出水による攪乱等）を理解し活かす
- 一気に改変するのではなく、少しずつ試しながら順応的に行う
- できる範囲で利活用の改善とネイチャーポジティブに努める（竹林の間伐と利用・小河川の水量確保・護岸水際植生の再生・生態系ネットワーク等）
- 今後も気軽に相談できる関係性で、連携・情報共有しながら進める







廻地区交流拠点 関連情報

川辺川魅力創造事業

相良村では、令和2年7月豪雨災害を受け策定した「相良村復興計画」・「相良村復興むらづくり計画」・「川辺川魅力創造事業基本計画」に基づき、川辺川の魅力を村内外に発信し、川辺川を中心とした周辺環境・地域資源を活かした地域活性化・関係交流人口の増加につながる拠点整備を進めています。



くまもとアートポリスプロジェクト

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市文化並びに建築文化の向上を図るとともに、文化情報発信地としての熊本を目指して、後世に残る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス」を推進しています。

「相良村川辺川魅力創造事業・交流拠点施設設計」は2025年9月29日に公開審査にて設計者が決定しました。



川辺川アカデミア 仲間募集中！

川辺川アカデミアは、川辺川の豊かな自然を資源に様々な学びへ活かす取り組みです。あなたも一緒に取り組んでみませんか？

性別・年齢問わず、色々なジャンルの先生・生徒を募集しています。

また、地域のみなさんと自然環境を活かす取組などのコラボも行っています。ぜひお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

国土交通省川辺川ダム砂防事務所(とりあえず)

